



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月6日

上場会社名 レイズネクスト株式会社
 コード番号 6379 URL <https://www.raiznext.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 善治

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 小林 敬典

TEL 045-758-1950

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	85,722	19.6	7,024	15.2	7,265	15.1	10,311	149.3
2019年3月期第3四半期	71,691	11.6	6,098	35.7	6,311	31.9	4,135	31.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 10,753百万円 (203.9%) 2019年3月期第3四半期 3,538百万円 (12.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	200.08	
2019年3月期第3四半期	89.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	116,335	66,802	56.6	1,215.72
2019年3月期	80,155	47,988	58.8	1,019.39

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 65,853百万円 2019年3月期 47,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		46.00	46.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				47.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	43.8	9,800	27.5	9,950	25.3	11,850	126.8	218.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	54,168,053 株	2019年3月期	46,310,892 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	235 株	2019年3月期	83,911 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	51,540,129 株	2019年3月期3Q	46,227,208 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあるものの、輸出を中心として引き続き弱含みの中にあるとともに、生産についても一段と弱含む中で推移しました。企業収益は高い水準にありましたが、製造業を中心として企業の景気判断には慎重な姿勢が増す状況にありました。

海外経済では、全体としては緩やかな回復基調が続きましたが、そのテンポは鈍化しており、米中の通商問題の動向や中国経済の先行き、英国のEU離脱問題など、景気の下振れリスクのある中で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、石油業界では、国内需要は燃費改善や燃料転換などの構造的な要因から減少傾向にあるものの、製油所の能力削減により精製設備の稼働率が高水準に維持されました。

石油化学業界では、エチレン生産設備の稼働率は高い水準を維持し、国内の個人消費や建設需要に支えられ、底堅く推移しました。非鉄金属業界は、景気判断の指数は悪化しているものの、半導体やスマートフォンなどIT関連の需要回復が見込まれる中で、投資を継続している状況にありました。

当社グループでは、当期(2020年3月期)も定期修理工事が引き続き堅調に推移する見込みである中、プラント強靱化対策工事、改造・改修工事、高機能製品生産の新規プラント建設工事などの受注拡大にも取り組みました。また、人手不足による外注加工費の上昇の中にありましたが、その他の直接工事費や経費の削減などに努めた結果、個々の工事における採算性を確保することができ、収益は好調に推移いたしました。

当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、第2四半期に引き続き経営統合前の新興プラントック株式会社との前年同期との対比となりますが、受注高は前年同期比79.0%増の1,285億2千9百万円、完成工事高は前年同期比19.6%増の857億2千2百万円となりました。また、経常利益は72億6千5百万円(前年同期比15.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、103億1千1百万円(前年同期比149.3%増)となっております。

なお、受注高は第2四半期においてJXエンジニアリング株式会社の経営統合前の受注残高をレイズネクスト株式会社の当期の受注高として受け入れたことにより、前年同期比で大幅に増加、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、第2四半期の特別利益において経営統合によって生じた負ののれん発生益を計上したことから、前年同期比で大幅に増加しております。

受注高の工事種類別内訳

(単位：百万円)

受注高		2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	前年比	増減率
エンジニアリング業	日常保全工事	17,580	23,058	5,478	31.2%
	定期修理工事	30,984	34,318	3,334	10.8%
	改造・改修工事	18,796	38,170	19,373	103.1%
	新規設備工事	4,452	32,982	28,529	640.7%
合計		71,813	128,529	56,716	79.0%

完成工事高の工事種類別内訳

(単位：百万円)

完成工事高		2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	前年比	増減率
エンジニアリング業	日常保全工事	16,709	19,881	3,172	19.0%
	定期修理工事	37,396	31,697	△5,698	△15.2%
	改造・改修工事	13,916	24,743	10,826	77.8%
	新規設備工事	3,554	9,286	5,732	161.3%
その他		114	112	△2	△2.0%
合計		71,691	85,722	14,030	19.6%

※その他は、不動産の賃貸、保険代理店業務などです。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、1,163億3千5百万円で前連結会計年度末より361億7千9百万円増加しました。これは、現金及び預金が65億6千6百万円減少したものの、受取手形・完成工事未収入金が110億7千9百万円、未成工事支出金が220億9百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債合計は、495億3千2百万円で前連結会計年度末より、173億6千5百万円増加しました。これは、支払手形・工事未払金が31億2千1百万円、電子記録債務が101億3千9百万円それぞれ減少したものの、短期借入金が264億9千5百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、668億2百万円で前連結会計年度末より、188億1千4百万円増加しました。これは、資本剰余金が101億5千6百万円、利益剰余金が81億8千5百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2020年3月期の通期予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績および今後の見通しを勘案し、本日公表の「2020年3月期通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、連結、個別とも2019年11月8日公表の予想数値を修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,954,338	10,387,623
受取手形・完成工事未収入金	38,837,826	49,916,866
電子記録債権	1,012,733	615,858
未成工事支出金	6,020,514	28,029,718
その他	196,397	4,275,134
貸倒引当金	△13,830	△9,228
流動資産合計	63,007,979	93,215,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,848,153	3,335,810
土地	7,186,383	8,067,690
その他（純額）	1,034,891	1,466,157
有形固定資産合計	11,069,428	12,869,658
無形固定資産		
無形固定資産	271,217	1,051,664
投資その他の資産		
投資有価証券	4,881,362	6,095,251
退職給付に係る資産	—	1,557
長期前払費用	11,849	11,862
繰延税金資産	758,854	2,814,295
その他	277,608	460,957
貸倒引当金	△122,520	△185,739
投資その他の資産合計	5,807,155	9,198,184
固定資産合計	17,147,801	23,119,507
資産合計	80,155,780	116,335,479

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	12,489,440	9,368,363
電子記録債務	11,229,960	1,090,901
短期借入金	205,004	26,700,588
未払法人税等	2,057,373	1,414,491
未成工事受入金	535,705	1,476,471
工事損失引当金	—	942,047
完成工事補償引当金	120,350	90,065
賞与引当金	1,255,014	586,933
役員賞与引当金	4,000	2,440
その他	1,949,002	3,805,474
流動負債合計	29,845,851	45,477,777
固定負債		
長期借入金	53,447	33,360
繰延税金負債	1,153	1,948
役員退職慰労引当金	93,377	92,306
退職給付に係る負債	1,984,577	3,705,799
その他	188,932	221,344
固定負債合計	2,321,488	4,054,758
負債合計	32,167,339	49,532,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,754,473	2,754,473
資本剰余金	1,688,884	11,845,004
利益剰余金	41,686,932	49,872,413
自己株式	△40,216	△286
株主資本合計	46,090,073	64,471,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,315,059	1,625,830
繰延ヘッジ損益	—	△1,786
為替換算調整勘定	△79,921	△107,914
退職給付に係る調整累計額	△201,857	△134,717
その他の包括利益累計額合計	1,033,280	1,381,412
非支配株主持分	865,087	949,927
純資産合計	47,988,441	66,802,943
負債純資産合計	80,155,780	116,335,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
完成工事高	71,691,917	85,722,616
完成工事原価	62,619,581	73,905,750
完成工事総利益	9,072,336	11,816,866
販売費及び一般管理費	2,974,139	4,792,063
営業利益	6,098,197	7,024,802
営業外収益		
受取利息	1,949	5,038
受取配当金	117,502	126,039
受取賃貸料	68,678	69,282
為替差益	—	1,837
その他	62,302	92,006
営業外収益合計	250,432	294,203
営業外費用		
支払利息	3,378	26,825
賃貸費用	8,049	8,365
為替差損	11,631	—
その他	13,975	17,884
営業外費用合計	37,035	53,075
経常利益	6,311,594	7,265,931
特別利益		
固定資産売却益	1,279	4,362
負ののれん発生益	—	5,531,316
特別利益合計	1,279	5,535,678
特別損失		
固定資産売却損	55	4,293
固定資産除却損	879	10,326
投資有価証券評価損	89,250	—
特別損失合計	90,184	14,620
税金等調整前四半期純利益	6,222,689	12,786,989
法人税等	2,014,779	2,380,456
四半期純利益	4,207,909	10,406,532
非支配株主に帰属する四半期純利益	72,028	94,609
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,135,880	10,311,922

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	4,207,909	10,406,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△711,679	309,400
繰延ヘッジ損益	—	△1,786
為替換算調整勘定	△15,621	△27,992
退職給付に係る調整額	58,237	67,139
その他の包括利益合計	△669,063	346,761
四半期包括利益	3,538,845	10,753,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,468,783	10,660,054
非支配株主に係る四半期包括利益	70,062	93,239

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

JXエンジニアリング株式会社を吸収合併したことに伴い、第3四半期連結累計期間において資本剰余金が101億5千6百万円増加、自己株式が3千9百万円減少し、第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が118億4千5百万円、自己株式が△0百万円となっております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び国内連結子会社における税金費用については、年度決算と同様の方法により計算しておりましたが、2019年7月1日にJXエンジニアリング株式会社を吸収合併したことに伴い、四半期決算業務の会計処理の統一化により一層の効率化を図る施策の一つとして、第2四半期連結会計期間より、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

当連結グループは、報告セグメントがエンジニアリング業のみであり、当連結グループの業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」は不動産の賃貸、保険代理店業務などであります。

前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当連結グループは、報告セグメントがエンジニアリング業のみであり、当連結グループの業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」は不動産の賃貸、保険代理店業務などであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

エンジニアリング業において、JXエンジニアリング株式会社を吸収合併したことに伴い、負ののれん発生益55億3千1百万円を計上しております。